

平成 30 年産米の放射性物質検査の結果について(第 1 報)

【要旨】

- 平成 30 年産米の放射性物質検査計画に基づき、2 検体について検査を実施した結果、いずれも**不検出**でした（詳細は下表のとおり）。
- この結果を受けて、検査が終了した市町村の平成 30 年産米の出荷・販売・譲渡が可能となりました。

【参考】 30 年産の米の検査は、市町村ごとに順次行います。

検査結果一覧

No.	生産地	検体作成日	測定値（単位：Bq/kg）		
			放射性セシウム		
			Cs-134	Cs-137	計
1	奥州市	9 月 3 日	不検出 (<2.6)	不検出 (<3.0)	不検出 (<5.5)
2	金ケ崎町	9 月 3 日	不検出 (<3.1)	不検出 (<3.4)	不検出 (<6.4)

(参考) 食品衛生法上の基準値（一般食品）  
放射性セシウム（Cs-134 と Cs-137 の計）：100Bq/kg  
(注 1) 「測定値」欄の（ ）内は検出限界値  
(注 2) 検査機関：(一財)東京顕微鏡院  
(注 3) 測定機器：ゲルマニウム半導体検出器

【参考】平成 30 年産米の出荷・販売・譲渡が可能となっている市町村

奥州市、金ケ崎町

【参考】平成30年産米の出荷・販売・譲渡が可能となっている市町村



平成30年産米の出荷・販売・譲渡が可能となっている市町村  
奥州市、金ヶ崎町